

委託事業実施内容報告書

平成23年度「生活者としての外国人」のための日本語教育事業

【ボランティアを対象とした実践的研修】

受託団体名 特定非営利活動法人

日本語教育ボランティア協会

1 事業の趣旨・目的

外国人児童生徒支援に必要な指導法や日本語文法、外国人の現状を学ばせる。また、講座を通して学んだことを活かし、指導に使えるテキストの作成を行い、テキストを使った実習をさせる。

2 運営委員会の開催について

【概要】

開催日時	開催場所	出席者	議題	会議の概要
5月14日	浜松国際交流協会	片岡浩 清水淳子 石間志津代 松岡真理恵 河合世津美 藤田美幸 岩永府子	文化庁受託事業の概要説明。講座募集について。講師について。	講座内容と予算説明を行った。

3 講座の内容について

- (1) 講座名 ジャボラ日本語 ボランティア研修会
- (2) 目標 外国人指導に必要な指導法や日本語文法、外国人の現状を学ぶ。また、講座を通して学んだことをいかし、浜松市派遣型支援教室(まなぶん西教室)で実習する。
- (3) 受講者の総数 41人(延べ人数ではなく、受講した人数を記載すること。)
(出身・国籍別内訳 日本 39人 ブラジル 2人)
- (4) 開催時間数(回数) 30時間 (10回)
講義 21時間 (7回) 実習 9時間 (3回)
- (5) 参加対象者の要件
外国人児童生徒の教育に関わる者、またはそれに興味のある者、今後活動予定の者
- (6) 受講者の募集方法
国際交流協会のニュースレター及びホームページ掲載

(7) 会場

ア 講義: 浜松国際交流協会、男女共同参画推進センター、
アクトシティ(楽器博物館)、クリエート浜松

イ 実習: クリエート浜松、クラスセ「ニジ」高丘教室

(8) 使用した教材・リソース

講師作成の資料

(9) 講座内容

日時	講座名／学習内容	講師	受講者数
5月14日 13:00-16:00	文字指導とは	浜松市立元城小学校教員 石間 志津代	16人
6月25日 13:00-16:00	日本語の基本構造	静岡大学国際交流センター 教授 原沢 伊都夫	19人
7月30日 13:00-16:00	外国人児童の課題	国立国語研究所准教授 野山 広	27人
8月27日 13:00-16:00	識字指導の具体的 方法	ジャボラNPO 正会員 杉浦 恵子 ジャボラNPO 正会員 中村 利恵子	20人
9月10日 13:00-16:00	書く力をつける	浜松市立元城小学校教員 石間 志津代	20人
10月29日 13:00-16:00	実習①	浜松市教育委員会指導主事 澤田 直子	24人
11月26日 13:00-16:00	学校文法と日本語教 育文法	静岡大学国際交流センター 教授 原沢 伊都夫	18人
12月17日 10:00-13:00	OBCとDRAの概要と その具体的方法	国立国語研究所准教授 野山 広	28人
平成24年 1月10日 9:00-12:00	実習②	ジャボラNPO 代表 河合 世津美	19人
平成24年 3月20日 13:00-16:00	実習③	ジャボラNPO 代表 河合 世津美	15人



(10) 講座の評価

① 受講生に対するアンケート

- ・子どもに作文を書かせるテクニックを教えていただき、参考になりました。
- ・文法の勉強会ということで、緊張しましたが、大変わかりやすく教えていただいてよかったです。次の勉強会も楽しみにしております。
- ・子どもがことばを獲得する段階をわかりやすく教えていただきありがとうございました。外国人児童を指導するにあたり、その子どもの段階を良く理解し指導にあたることが大切であると思いました。語彙を増やすための具体的な例も参考になりました。
- ・私は、ブラジル人です。会話は問題ありませんが、読み書きはまだ不十分です。今日話された内容は、心を打たれることが多くありました。大変勉強になり、今後日常生活や子ども達の指導に活かしていきたいと考えています。
- ・今日はよい機会を与えていただき、ありがとうございました。日ごろから子どもとのかかわりのなかでの未解決の問題点に光がさした思いです。自分がよかれと思って教えていたことの反省点、この先取り組んで新規展開していかなければならないことなど多くの点に気付かされました。
- ・実習を通し、指導の難しさを感じました。頭でイメージしていたのと子どもの発話の内容がまったく違うことがあります。その時に、指導の難しさを感じます。指導方法をさらに学び、楽しくわかりやすい指導ができるようにがんばりたいです。

② 実施主体からの研修内容結果評価

外国人児童生徒を取り巻く実態から指導に役立つ内容まで幅広く学べる研修会を行うことができた。毎回、受講者からは好評を得ており、同じ講師に2度立ってもらうことにより、より深く学べることができ、続けて研修会に出席する者も多かった。

また、地方都市ではなかなか来ていただけない講師を呼ぶことができたことは大変有意義であったと感じている。次年度の研修会の問い合わせも多く、さらに指導に役立つ研修会を行いたいと考えている。

③ 実施主体からの外国人支援体制等今後の計画

大人：23年度、文化庁助成を受けて行った外国人（成人）のための日本語教室には19カ国 実数180人 延べ1474人の学習者が参加した。24年度も引き続き支援を行っていきたいと思っている。

子ども：浜松市教育委員会実施事業「派遣日本語教室まなぶん」を24年度も受託し、公立小中学校在籍児童始め、不就学、超過の子どもの支援まで幅広く行っていく。

(11) 事業の成果

① 他事業との連携

当協会は、浜松市教育委員会が実施している浜松市公立小中学校外国人児童生徒支援の受託をうけている。研修会で学んだ知識や研修会を通して作成したオリジナルテキストを用い、支援に生かすことができた。

② 研修後の人材活用

当協会で行っている浜松市内の公立小中学校への支援に従事する。また、浜松市内及び近隣地域の日本語ボランティア指導者となる。

(12) 今後の課題

研修会を通し、外国人児童生徒の抱える問題から指導に役立つ知識を習得した。しかし23年度は問題のあぶり出しだけであり、その解決方に向けての指導や実際の行動と結果は次期につなげる必要がある。テキスト作成もまだ後半分残っている。